

【議事録】概要

会議名	平成 29 年度第 1 回 芦屋町住民参画推進会議	会場	芦屋町役場 41 会議室		
日時	平成 30 年 2 月 14 日 19:00~20:45				
件名・議題	1 これまでの取り組み・課題等について 2 28 年度の取り組みについて 3 その他				
委員の出欠	委員長	大島 まな	出	片山 和夫	出
	副委員長	小川 昭夫	出	瀬戸口 泰司	欠
		重富 洋一	出	占部 吉郎	欠
		仁田原 真穂	出	岩本 浩	欠
		戸田 峯雄	欠	野崎 昌雄	出
合意・決定事項	○委員長に大島まな委員、副委員長に小川昭夫委員がそれぞれ選出され、承認された。				

平成 29 年度 第 1 回住民参画推進会議議事録（概要）

【まとめ】

○住民参画推進会議のこれまでの検討経緯等および平成 28 年度の取り組みについて事務局より説明した。3 月 6 日（火）に第 2 回会議を開催し、今後の住民参画に関する取り組みについて、各委員より意見をいただくこととなった。

1 開会

2 委員の紹介

大島まな（学識経験者）、小川昭夫（区長会）、重富洋一（区長会）、戸田峯雄（老人クラブ連合会）、瀬戸口泰司（四校 P T A 連絡協議会）、野崎昌雄（一般公募）各委員が新たに就任した。

3 委員長・副委員長選出

委員長に大島まな委員、副委員長に小川昭夫委員がそれぞれ選出され、承認された。

4 議事

（1）これまでの取り組み・課題等について

（事務局）

資料 1、1-2、1-3 を基に住居参画推進会議のこれまでの検討経緯等について説明。

（委員長）

28 年度に住居参画の啓発方法を検討したとのことだったが、検討した結果どうだったのか。

（事務局）

シンポジウムの開催等を検討したが、実施はできなかった。

（委員）

平成 27 年度に情報ガイドブックを全戸配付した際の町民の方の反応はどうだったのか。問い合わせ等があったのか。

（事務局）

問い合わせ等についての把握はできていないが、現時点で、情報ガイドブックを有効活用できていないという認識はある。

（委員）

広報紙の配付・ホームページの公開・自治区の見覧等は情報共有の有効な手段だと思うが、

それ以外の新たな手法の検討を、この会議を通じて行えばよい。

(事務局)

新たな手法を含め検討いただきたい。

(2) 28年度の取り組みについて

(事務局)

資料2、2-2を基に28年度の取り組みについて説明。

(委員)

ホームページのアクセス数が190,348件とあるが、28年度の延べ件数か。

(事務局)

延べ件数である。

(委員)

自治区未加入の人や高齢者等は情報提供を得にくい。そのような人に対しての情報提供手段を検討する必要がある。

(委員長)

これまでに検討したことがあるか。

(事務局)

検討できていない。自治区加入率の向上については、様々な取り組みを行っている。

(委員長)

自治区の加入率を上げる事は重要だが、自治区未加入者に対して、有効に情報提供を行う手段を検討することも重要である。

(委員)

約4割の人が自治区に入っていない理由はなにか。

(事務局)

資料を持ち合わせていないため、次回報告する。

(委員)

情報ガイドブックの「情報提供・収集の具体的方法」として、サロン事業が項目に挙がっていないがなぜか。

(事務局)

サロン事業は高齢者の介護予防や地域の交流をすすめるための事業であり、情報共有の役割を担っている側面もあるが、情報共有の方法とまでは考えていない。ただし、自治区の加入が要件でないサロン事業の参加を通じて、自治区加入に繋がったケースもあると聞いている。

(委員長)

出前講座の28年度実施件数は12件だが、同じメニューに偏ったりしているのか。

(事務局)

「消費者センスを身につけよう」が3件、「生活習慣病予防の食生活」が2件、その他は1件ずつである。

(委員長)

自治区担当職員制度の職員の参加人数（ステップ1 85人、ステップ2 46人）は延べ人数か。

(事務局)

延べ人数である。

(委員)

自治区担当職員制度で職員と顔見知りになったことで、役場に相談しやすくなったという声もある。

(3) その他

(事務局)

資料3を基に、住民参画推進会議の今後の進め方について説明。その後事務連絡。